

TriNet 社、120 以上の工程を自動化し、本格的な変革を起こしつつ俊敏性を維持

組織概要

専門家を派遣する TriNet 社は、中小企業に合わせた HR ソリューションを提供しています。人的資本に関する専門知識、福利厚生、リスク軽減、コンプライアンス、給与計算、リアルタイム テクノロジーを提供することで、絶えず変化する人事やコンプライアンスの複雑さではなく、ビジネスの成長に企業が集中できるように支援しています。

課題

TriNet 社は当初、ビジネス オーナーシップ モデルを使用していましたが、エンジニアリング オーナーシップ モデルを採用することにしました。これは、同社がこれまで経験した中で最大の変革をもたらしました。ソフトウェア ファクトリー モデルを運営目標としている TriNet 社は、その道のりにおいて重要な課題があることを理解していました。アジャイル フレームワークで変革を後押しすることを決定した同社は、進化の原動力として自動化を選択しました。

Automation Anywhere にはとても感謝しています。RPA により、多くの負担が軽減されました。

Eric Kern 氏
TriNet 社、
RPA ソリューション アーキテ
クチャ

メリット

 **120**
自動化した工程の数
(4 年間)

 **30**
進行中の事例数

自動化されたプロセス

ドキュメントの処理
ドキュメントの改良
給与処理
人事業務
エンジニアリング工程
財務工程

業種

HR ソリューション

ソリューション

TriNet 社は、各 Bot の標準を設定し、他の Bot に従わせるランブックを作成することを目的とした、小規模な一元的なチームから開始することで、自動化の枠組みを設定しました。企業全体の移行を可能な限り俊敏に維持するために役立つ、ROI が最も高い工程を選択しました。さらに、4 人の市民開発者に投資して、RPA の機能をさらに拡張できるようにしました。チームと市民開発者は共同で、給与計算、人事、エンジニアリング、財務の各部門で 120 の工程を自動化し、さらなる拡大を目指しています。



当社の従業員は、問題解決に関して正しい考え方を持っていました。課題を見つけると、RPA を使用して解決しました。

Eric Kern 氏

TriNet 社、
RPA ソリューション アーキテクチャ

顧客事例

このような急激な変革を目前に控えた TriNet 社は、無駄を省く必要がありました。主要な指標を達成することの重要性を理解し、ドキュメントの処理を改良することを目標にしましたが、自動化がはたして、同社の大きな目標達成に役立つのか確信が持てずにいました。そこで同社は、Automation Anywhere と協力することで、その問いに答えを見出しました。

自動化を成功させる基盤を構築するために、一元的な協力モデルを選択して、審査工程を開始しました。この取り組みを主導する適切な役割を慎重に選択しました。最初は、Bot 設計の標準、ベスト プラクティス、構成要件の作成を担当するソリューション設計者です。そこから、このチームを拡張して数人の自動化アナリスト/開発者の二重の役割を取り込み、工程文書すべての改良と、すべての工程のランブックの標準化に専念させました。俊敏性の維持を確約するために、製品責任者とスクラム マスターをこのグループに追加しました。

改良された工程文書と、Bot が期待通りに機能しなかった場合に参照するためのランブックを装備した、導入後本番サポート チームを設置しました。このような強固な基盤を形成したことで、複数の部門にわたり 120 以上の工程を自動化し、この変革の全体を通じて俊敏性を維持することができました。

今後の展望

TriNet 社は、RPA の認知度を企業全体に拡大し、工程と役割に革命を起こし続けようとしています。RPA の成功を説明会で売り込む計画を立てており、これが市民開発チームの拡大につながることを期待しています。その後、先日展開した役割と職責により、新たな均衡を達成したいと考えています。4 年間にわたる変革の流れを感じており、俊敏な新たな運用モデルを確実に導入し、安定感を得たいと熱望しています。

Automation Anywhere について

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタルワークフォース プラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、下記ホームページ、もしくはメールアドレスからお申し込みください。

Automation Anywhere  www.automationanywhere.com/jp  contact_japan@automationanywhere.com

 @AutomationAnwJP  www.facebook.com/AutomationAnywhJP

Copyright © 2024 Automation Anywhere, Inc. Automation Anywhere、A のロゴ、Automation 360、AARI、A-People、IQ Bot、Bot Insight は、米国およびその他の国における Automation Anywhere Inc. の商標・サービス マーク、または登録商標・サービス マークです。本書に記載されるその他の製品および会社名は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

Automation Anywhere ©2024

